

## ご挨拶



校長 福岡 憲助

昨年七月、兵庫県教育委員会東播磨教育事務所長から姫路東高校第二十三代校長として着任しました。姫路は、私が教員としてスタートした地であり、着任早々に当時の生徒が、「今度は自分の子どもが先生にお世話になります。」と挨拶に来校してくれました。時の経過の早さと姫路で再度勤務できる喜びを感じました。それから一年余、大西会長をはじめ、東生会の皆様方のご理解・ご協力のもと、本校教育活動が推進できますことに厚くお礼申し上げます。

平成十五年の単位制改編以来、本校は、単位制による学習システムを構築していく中で、キャリア教育を充実させております。さらに、自己の将来を考えさせることで学習意欲を喚起させ、確実に学力を身につけることを柱としています。そして、その実践には、東生会から多大な協力をいただいております。一年次の職業ガイダンスセミ

ナーでは全国各地の様々な分野で活躍されている皆様に、二年次の修学旅行では東京で活躍されている皆様に、先輩として職業観や勤労観、さらには生き方に至るまで貴重な体験談を後輩である在校生に語っていただいております。現場を預かる者として、大変心強く感じております。これもひとえに、本年五月に神戸市で開催された「オーラル姫路東 京阪神の集い」の成功が象徴する、姫路東高校の過去・現在・未来へと連続と受け継がれる伝統の力によるものと自負してやみません。

県立姫路高等学校の校歌に「堅き誠を磨くべき」、姫路東高校の校歌に「みがきあげなむ人の誠を」という歌詞があります。社会が変化し、人々の価値観が多様化する中にあっても、本校教育の不易な柱として、「誠」という心のバトンを未来へと確実につないでいく所存です。平成二十一年度には創立百周年を迎えます。東生会の皆様とともに祝いしたいと考えております。今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 大きな夢の実現へ



東生会副会長 江尻三千代

暑くて長い夏から、急速に季節が動き始めました。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

先の総会で決議されました母校百年記念各事業も、それぞれ来秋に向け急ピッチで進められております。

とりわけ、百周年記念館建設と育英基金拡充につきましては、ご挨拶と趣意書を送付させていただきましたところ、早速に厚いご理解とご支援をいただきつつありますこと、誠にありがとうございます。然しながら、日頃お忙しい中、そのうちにと申し召しの方もおられますようですが、より多くの皆様にご協力頂きたく、改めてお願い申し上げます。何とか大勢の力で成功させようではありませんか。

先日、近在の県女各期幹事様方にお集まり頂き、百周年記念誌編纂の為の得難い資料や体験等、いろいろお話しいただきました。県女草創期から充実発展の頃、戦前、戦後の激動の頃、い

ろいろな時代を乗り越えて私共の誇りとし、歴史と伝統が今なお健在で、後輩達へ語り継ぐべき遺産だと確信致しました。

皆様、来年の秋には、元気で会いましょう。なだらかなスロープ式のメモリアル・ロードを進んで、校庭の東方、お城中濠の土手近くに百周年記念館は建てられます。二階のバルコニーへ進めば県女跡も望めましょう。学習室を利用する後輩達との触れあいも楽しめることでしょう。

皆様、私どもがなし得る人生のグッドチャンス、大きな夢の実現に向かって、どうぞご協力よろしく申し上げます。

ご健康を祈りつつ。

